



宝城中学校だより

令和6（2024）年10月18日

第13号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

1. 自分を実らせるのは自分しかない。

(1) 2学期も中盤を迎えています。

9月下旬の学級主張大会から始まって、ブロック中体連新人大会、3年生到達度テスト、暴力団排除教室、薬物乱用防止教室、文化発表会など、毎日のように様々な取り組みが行われています。

「自分を実らせるのは自分しかない」と書きましたが、自分にとって都合の悪い結果のときに、向き合うことをせずに環境や自分以外の誰かの責任にしてしまうことが、果たして自分のためになるだろうか、いつも考えています。

それは、私の若い時を振り返ってみて、自分に都合の悪いときは、「嘘をついてごまかしたい」「もっと手を抜いてラクしたい」などという弱い心に支配されていたことを思い出します。だから、いま中学生の皆さんが「少しでもラクしたい」「都合の悪いことはごまかしたい」などと考えてしまうことも理解できます。

それは悪いことだとは思いますが、自分の成長を止めてしまうのは間違いない。私の経験の中で、「自分が一番成長したなあ」という経験をした時期は、やはり自分自身が一生懸命に取り組んで一番苦勞した時期であり、頭も身体もフル回転で動かし続け、何度も何度も失敗を繰り返していた時だと思えます。

挑戦や失敗を怖れない、自分が今、実るときだと考えて、自分の弱い心と戦うしかないと思えます。

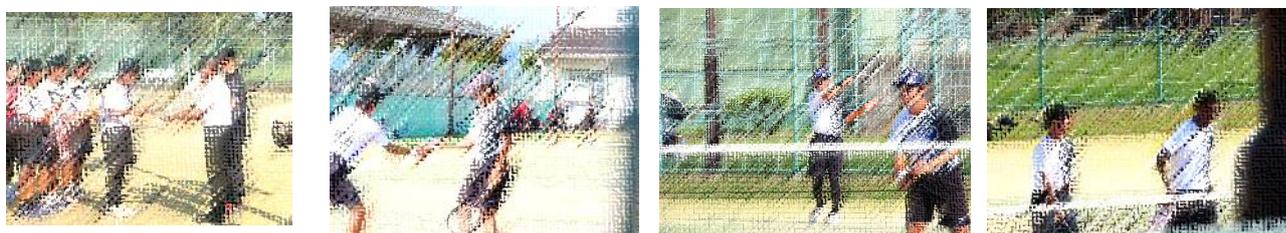
(2) 振り返りましょう。



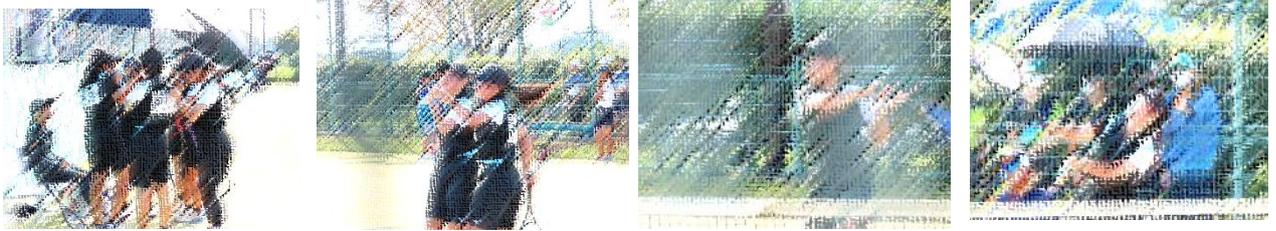
※学級主張大会では、自分の思いを自分の言葉で伝えることはできましたか？



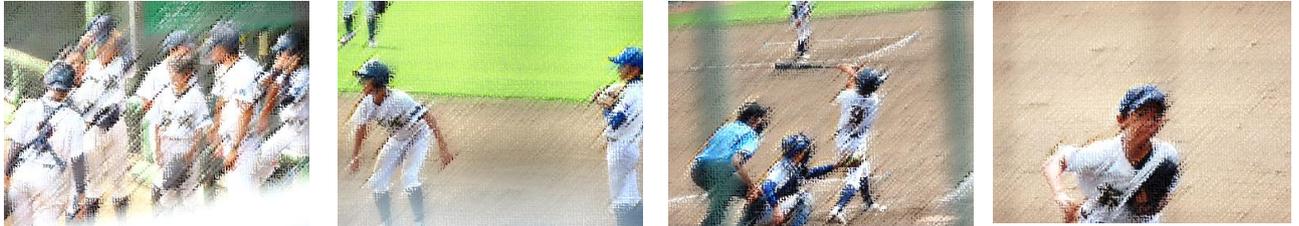
※激励会 左から野球部、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、バレーボール部



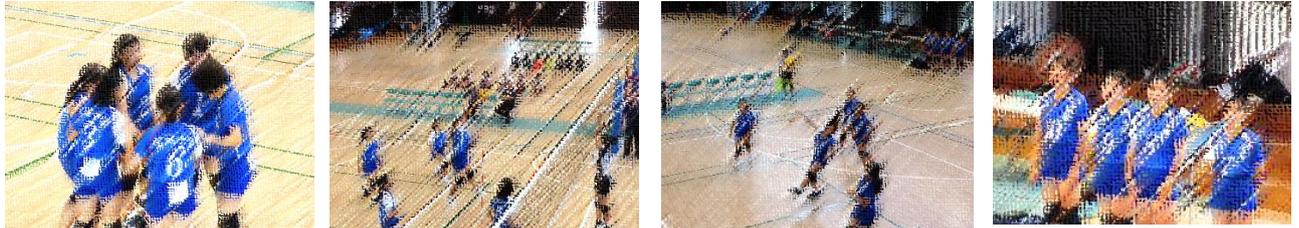
※中体連本番、男子ソフトテニス部は準優勝でした。



※女子ソフトテニス部は予選を通過して決勝トーナメントは4位でした。



※野球部は予選リーグの2試合とも、粘り強い良い試合をしていました。



※バレーボール部はよく声を出して試合を頑張っていました。



※バスケ部（小郡中との合同チーム）、剣道と陸上（個人出場）も躍動していました。

(3) 感動しました。文化発表会、素晴らしい発表会になりました。

※自分自身に感動できたみなさん、本気で取り組んだ証（あかし）ですよ。



※展示作品も目を惹く作品がたくさんありましたね。



聴き応えのある良い主張ばかりでした。

3年生はさすがの合唱を聴かせてくれました。

